

燃料小売業におけるトラックを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	13～ 14	お客様宅にてLPガス容器交換作業中、トラックの荷台から容器を降ろすときに右足が滑り、荷台から落ちバランスを崩した状態で足を挫いたため、右足首にヒビが入った。	45	—
2	0～1	配送センター敷地内で、3t車トラック荷台に積んである空のドラム缶に灯油の積み込み作業を行っていた際、荷台より落下してしまい右手、頭部を地面に打ち負傷したものである。	56	1～9
2	13～14	赤信号で止まっていた時、青信号に変わったので発進しようとしたら、前の車がエンストして止まったので自分も止まったところ後方よりトラックに追突された。	34	10～29
3	11～12	道路にて、積載車の荷台に乗り、固定ワイヤの付け替え作業をしていた。作業完了後、荷台から降りたとき着地に失敗して足を滑らせ、転倒した際に背面から倒れてしまい、尾てい骨と後頭部を強打し、第一腰椎を骨折した。	77	1～9
4	10～ 11	当事業所整備工場内において車検整備作業中、大型車輛の前輪を脱着していた際に、ホイール付タイヤに誤って足首辺りを挟まれた。	62	1～9
5	10～ 11	配送先において、トラックの荷台に乗り、荷台に積んでいたドラム缶から配送先に設置されているタンクにオイルを移す作業をしていた際、リフト式の荷台リヤゲートに移す作業をしていた際、リフト式の荷台リアゲートを半分程下げ（地面から30cm程上げた状態）、階段状にして、地面に降りようとしたところ、足元がふらつき、右肘から地面に落下し、右肩と右膝を負傷した。	54	1～9

6	13～ 14	積載車へ給油作業を終え、見送りしている時に、客の不注意により、積載車の後部が計量機へ接触しそうになったため、停止指示を出したが聞こえず、積載車に押され太ももを打撲し、腰を負傷した。	58	～ 29	10
6	11～ 12	ローリー荷台から足を滑らせ転倒し、左肩を負傷したものである。	40	～ 29	10
9	9～ 10	交差点にて青信号進入時に、コンクリートミキサーと出合頭衝突事故。はね飛ばされた後、ガードレールに衝突。	76	～ 9	1
10	15～ 16	お客様の敷地内でガスボンベを配達中、車の荷台で足を踏み外し滑って下に落ち、倒れた時に手をつき手首を怪我した。	66	～ 9	1
10	13～ 14	酸素ボンベ庫前にて、酸素ボンベ交換作業中に伝票のロール紙が切れたのでロール紙を入れ替え、その際に出たゴミを助手席にあったゴミ袋に捨てようとした。運転席から助手席に両膝をつけた状態でゴミを捨て、右足から降りようとしてトラックに乗降する際のステップに右足をかけようとしたが、ステップ部分に右足が乗っていないまま後ろに体重がかかり、そのまま地面に着地。その際、トラックのハンドル部分が右脇腹に当たり、右肋骨骨折した。	38	～ 29	10
11	17～ 18	営業所で、重さ約10kg程のホースの中の燃料を空にする作業のため、ホースにつないだピストルを持ってタンクローリーの上（1m程の高さ）に上がって作業をしていた。作業終了後、片手にピストルを持って梯子から下りる際、左足を伸ばした瞬間に痛みが走り、左ふくらはぎに肉離れを起こしたものである。	50	～ 9	1

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html